

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL: 092-711-9890 FAX: 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.150

(2008年 1月発行)



宮崎宮 写真提供:都地義彰さん(44回生)

年頭づゝ挨拶

引き継ごう進取の精神

理事長 山口 毅



新年あけましておめでと〜うございます。新しい年を迎え皆様には、希望に溢れた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本経済は、2002年の初めに景気後退局面を脱し、5年以上にわたって回復・拡大が続いています。世界経済が好調で、輸出増加が牽引力になつて引き続き景気は、緩やかに拡大傾向を示すと予測されます。

しかしながら近年日本が直面する課題は、エネルギーや資源の欠乏、地球温暖化、高齢化と少子化、都市過密と地方の過疎、教育問題、財政問題、農業問題など、解決しなければならぬ課題があります。さらに世の中の変化するスピードは速まるばかり、今日の時点で最善と思われる判断が、必ずしも明日正しいとは限らないのが現状です。そんな激動の時代に生きる我々としては、目指すべきものを自ら決め、先頭に立って進む覚悟が必要です。

これからの学校教育現場においても、新たな視点に立ち、時代のニーズに即した特色のある学校づくりが要請されます。「学校選び」に正に真価が問われる時代だと思えます。学生諸君においても志を持って基礎・基本をしっかり学び、幅広い知識と教養、次世代を見通す判断力と学力を身につけて貰いたいと思えます。

福岡は、二百五十万人が生活する都市圏で、日本最大の急成長都市です。2011年の九州新幹線の全線開通は、福岡への一極集中の流れに更に拍車を掛けると思われれます。福岡高の後輩達が、福岡の都市造り、商業施設の活性化にも携わって貰いたいと期待しています。活躍する場は、沢山あります。結束の固い福商会としては、母校福岡高の充実発展に少しでも貢献出来たらと存じます。

福岡高は明後年、福岡商業創立110周年という記念すべき節目の年を迎えます。我々の大先輩には、世界に冠たる出光興産の創業者出光佐三氏(2回生)、日本の海運業界に貢献した飯野海運の俣野健輔氏(14回生)、「ケインズ」ともな議論を交わすことのできた唯一の日本人経済学者」といわれる柴田敬京都大学教授(18回生)、地元経済界の旗頭となっている諸氏が多数おられます。歴史をひも解き現代にも通ずる積極進取の精神を是非受け継いで欲しいと思えます。

創立110周年の「福商110年記念史」の編さんにあたっては、各学年の理事・代議員の方々のお力添えをお願いします。福商の変遷、歴代先生方の思い出・苦勞話、文化部の珠算部、速記部、タイプ部、演劇部、体育部の剣道部、ラグビー部、サッカー部等全国大会出場の

歴史、また社会人となつての諸先輩の活躍など幅広く掲載したいと存じますので、ご寄稿・ご紹介のほどお願い申し上げます。

本年が一段と飛躍の年になりますよう、母校並びに皆様のご繁栄とご健康をお祈り申し上げます。

具体策の実行に当たつて

福岡高等学校
校長 清水 昭男



明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新たな年をお迎えのこと、お

慶び申し上げます。旧年中は本校教育の充実発展のため、様々なご支援を頂き、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

一昨年より取り組んでおります福商改革セカンドステージも、いよいよ仕上げの時期に入ります。いろいろな課題のある中で、まずは生徒の進路保障に関する目に見える成果を出して、信頼される福商づくりのスタートにしよう、その実現に向けて一昨年以来、具体策を立てて取り組んでいます。総合学科の特色のひとつである自由に教科科目が選択できるということを、しばらく抑えてコース制を導入し、進学クラスと就職ク

CONTENTS

| | | | |
|---------------------|-------|-------------|-------|
| 新年挨拶 | 2 | バレーボール回想記 | 14 |
| 理事会報告 | 3 | 私の趣味 | 15 |
| 学園だより | 4~5 | 随 想 | 16 |
| さくら会 | 6 | トピックス | 17~18 |
| 恩師シリーズ | 7 | 南北アメリカ大陸縦断記 | 19 |
| 同窓会だより | 8~11 | 会費納入 | 20~21 |
| 青春プレイバック | 12 | 企業紹介 | 22 |
| 同舟往來 | 12~13 | 告 告 | 23 |
| 福商100年史は今号は休ませて頂きます | | | |

第3回理事会開催

10月24日、福商会館で第3回の理事会が開かれ、議案、報告事項について活発な意見が交わされました。

議案

「5階及び4階に

更衣室増設工事の件」

テナントの岩田屋からの申し入れにより、更衣室の確保が必要となり、一部改修工事をする事について全会一致で承認されました。なお岩田屋からは賃貸料支払いとし、工事費用は本会負担で行います。

報告事項

- 一、収支報告(4月～9月)
- 二、第57回全国合同同窓大会収支報告
- 三、福翔高校活性化委員会設置
- 四、母校奨学金給付(1年生)の変更
- 五、エレベーター部品交換
- 六、年会費納入報告(4月～9月)
- 七、ゴルフ大会収支報告
- 八、110周年記念事業取り組み

母校活性化委員会を設置

母校は平成12年から総合学科高校として再スタートしました。卒業生も、5回生を送り出していますが、進路面では会報でも報告しております。すよ様に、厳しい結果にあります。

このことは福翔高をめざす中学生への影響も大きく、福商会として母校発展に向けて、学校、教育委員会への要

栄えある受章者

昨年秋の叙勲の受章者として、福商会員からお二人が選ばれました。長年のご功績に敬意を表し、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

旭日小綬章



田中 範隆氏 (39回生)
元筑紫野市長

旭日双光章



中島 清氏 (52回生)
元九州めつき工業組合
理事長

望・支援に今まで以上の力を注ぎたいと10月この委員会が設けられました。

母校活性化委員会メンバー

- 委員長 安河内眞彦(副理事長(52回生))
- 委員 富永 哲二(理事(48回生))
- 後藤 幹生(専務理事(55回生))
- 石川浩二郎(理事(60回生))
- 川瀬 哲雄(事務長(63回生))
- 寺崎 裕幸(理事(67回生))
- 渡口 史郎(理事(70回生))
- 南原 茂(理事(71回生))
- 木庭しげ美(代議員(73回生))
- 相談役 後藤 豊彦(45回生)
- 山口 毅(52回生)

第2回三者懇談会開く

定期的に行っている学校、保護者、福商会との本年第2回目の三者懇談会が、11月22日福翔高校で開かれました。冒頭、清水校長から「福翔改革の取り組みが認められ、文部科学大臣からキャリア教育の充実発展に向けての、実践教育が評価された」として表彰されましたとの報告があり、その後、生徒の学校生活実態調査や7月の進研模試の結果などについて話し合いました。

意見交換内容

- 一、学校生活実態調査：家庭学習時間、授業の理解度、学校生活の満足度など
- 二、保護者の学校評価(中間評価)：学校の教育方針、進路指導、情報公開など
- 三、平成19年度学校自己評価表について
- 四、進研模試(7月分)平均点
偏差値学校間比較
- 五、部活動成績(4～10月)
- 六、サテライト講座出席状況

第5回

「福商縦の糸の会」 開催のご案内

日時

平成20年2月8日(金)

第一部

講演会

午後6時～7時

(受付午後5時から)

◆演題◆
「商いの心」

人は、人を浴びて人となる

講師

社団法人 福商会理事長
山口 毅氏(52回生)

第二部

懇親会

午後7時～9時

会場

八仙閣 5階
福岡市博多区

博多駅東2丁目7-7
☎092(411)4141

会費

6,000円(82回生まで)
4,000円(88回生以降)

お問い合わせは、
福商会事務局まで
☎092(711)9890

学園 だより

平成19年度 奨学生へ 奨学金給付

福商会が奨学育英事業の一環として、母校奨学生たちに毎年実施している、奨学金給付を11月9日福翔高校で行いました。保護者、奨学生が出席した中で、清水校長から「福商会から毎年、母校の活躍を願って奨学金を寄付していただいています。奨学生の皆さんは力を発揮して頑張ってください」と挨拶がありました。

また、後藤専務理事からは「皆さんの先輩から、母校の発展を願って寄付をいただいております。毎年、奨学金を渡すことができます

文部科学大臣表彰を 受ける！

福翔高校はこのたび、「キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な実績が認められる学校等」に対して行なわれる文部科学大臣表彰を受けました。

表彰理由

平成の福翔改革セカンドステージとして、生徒の進路希望に合わせたコースを設定し、進路に沿ったカリキュラムの選択など、生徒一人ひとりの進路実現を図る取組を推進。

います。リーダーシップを発揮して、輝ける生徒になって欲しいと願っています」との言葉がありました。



平成19年度福翔杯中学校剣道大会開催

平成19年10月27日(土)に平成19年度福翔杯中学校剣道大会が開催されました。

本大会も今年で3回目を迎え、福翔高校体育館で福岡市及び近郊市町村と北九州市、佐賀県の中学校52校から75チームが参加し、昨年同様盛大な大会をおこなうことができました。

開会式では福商剣友会会長川原英之から「福翔高校剣道部へ来た

出利葉 博(40回生)先生を悼む

福岡商業高校教諭時代に、30数年間を共に歩んでこられた丸田先生から、哀悼の意を表して歌が寄せられました。

出利葉博先生の御他界も悲傷して
語り合ふ友また去りて寂しみの極まる夜のわかれなくに
時々に電話よとして若者の言葉の乱れ嘆きみましぬ
控へ目に身をば保ちて人を立て淡々としてありまじりを
忽ちと友みまかりぬ今は、天の定めとてふなふまか
五十年よしみ重なり友なれや心安らに黄泉路ゆきませ
平成十九年八月三日
丸田淳

平成19年8月17日に逝去されました。先生は昭和25年4月から昭和60年3月までの35年間に英語教師として教えてこられ、数多くの生徒から慕われていました。心から冥福をお祈り申し上げます。

れ！中学生剣士諸君！」と熱い挨拶の後、試合開始となりました。

今年の大会も約546名の選手に監督、保護者を入れると、000名以上の方々、福翔高校に来校され、熱い声援の中、熱戦が繰り広げられ、その中で栄えある優勝を勝ち取ったのは、福岡市の老司中学校でした。

平成19年度 福翔杯中学校剣道大会の成績は次のとおりです。

- 優勝 福岡市立老司中学校 A
- 準優勝 福岡市立志賀中学校 A
- 三位 宗像市立玄海中学校
- 三位 前原市立前原東中学校

最後に、今大会を実施するにあたり、福翔高校をはじめご協力いただきました方々に、深くお礼申し上げます。

福商剣友会 跡部 宗教(79回生)

平成19年度体育祭

今年度の体育祭は、昨年の6月から9月開催に変更し、夏休みの開始と共に練習が始まりました。連日の炎天下の中、熱射病や熱中症への万全の対応を整え、体育祭当日はFCSの3ブロックの生徒達が、ブロックの栄光と名誉をかけた懸命に競い合い、参観者に大きな



の一体感を感じられる立派な体育祭ができました。

福翔ソフト部OG会

11月23日に福翔ソフトボール部を育てる会(旧後援会)総会とともにOG戦を行いました。当日は晴天に恵まれ、現役部員との本気で楽しい試合をしました。打撃はうまくいきませんが、守備はなかなか軽快にこなせました。

感動を与えました。特に記しておきたいことは、運営の手際がよくプログラムがスムーズに進行したことです。先生方の指導のたまものであったと思います。また、福翔生として

体育部・文化部活動成績 県大会以上 (8~11月)

陸上競技部

全国高校陸上競技大会

8月2(木)~4日(土) ■佐賀県総合運動場 陸上競技場
 <走幅跳> 山部 倫太郎 6m61 予選落ち
 <走高跳> 谷 美枝 1m60 予選落ち

全九州高校新人陸上競技大会10月11日(木)~13日(土)

■宮崎市生目の杜運動公園 陸上競技場
 <砲丸投> 江副 良輔 12m22 11位
 <走高跳> 良永 博美 1m56 7位

水泳部

全国高等学校総合体育大会 水泳競技

8月16(木)~20日(月) ■佐賀県総合運動場 水泳場

<50m自由形> 谷口 実雅子 27秒24 12位:予選落ち
 <50m自由形> 岩岡 里衣 28秒37 52位:予選落ち
 <100m自由形> 谷口 実雅子 59秒22 20位:予選落ち
 <100m自由形> 川崎 仁雅 54秒46 53位:予選落ち
 <女子400mメドレーリレー>下大迫・小柳・谷口・小島 4分33秒70 55位:予選落ち
 <女子400mフリーリレー>岩岡・小島・大長・谷口 4分06秒14 39位:予選落ち

第62回 秋田わか杉国体(国民体育大会) 10月2(火)・3日(水)

<混合女子200mリレー> 谷口 実雅子 6位
 <少年女子B200mリレー> 岩岡 里衣 8位

野球部

九州高校野球 福岡南部大会:9月1日(金) ■大牟田延命球場

1回戦 福翔 0-5 大牟田

卓球部

全日本卓球選手権大会・ジュニアの部・福岡県大会:9月24日(月) ■小倉北体育館

<女子個人>

仲野ゆかり:3回戦進出/高村 捺希:3回戦敗退
 川口 美佳:3回戦敗退/村田 未希:2回戦敗退
 県高等学校新人卓球大会中部ブロック予選:9月30日(日) ■博多体育館
 <女子個人>

仲野ゆかり:4回戦敗退(ベスト16)/高村 捺希:3回戦敗退(ベスト32)
 村田 未希:3回戦敗退(ベスト32)/川口 美佳:3回戦敗退(ベスト32)
 ※以上4名、福岡県大会出場(1/1/3)

<学校対抗>

<1回戦>福翔3-0春日 <2回戦>福翔3-1糸島
 <準決勝>福翔0-3精華女子 <3位決定戦>福翔3-2筑紫女学園
 ※福岡県大会出場(1/1/3)

サッカー部

全国高校サッカー選手権大会 福岡県大会

10月13日(土) ■小郡市陸上競技場

<1回戦>福翔1-0鞍手高校
 10月21日(土) ■博多の森球技場
 <2回戦>福翔1-3筑陽学園 ※福岡県大会ベスト16

ソフトボール部

新人戦 福岡県大会:10月27日(土) ■雁の巣レクリエーションセンター

<1回戦>福翔 0-15三瀬

かくことができず、その後、セミナーハウスで総会、会食。OG20名の他に上山先生や妹尾先生も参加され、楽しい1日を過ごすことができました。これからも福翔ソフト部の発展のために、OG会の親睦を深め活動していきたいと思えます。

福翔ソフト部OG会
 大神 智香子(83回生)



4回までの試合を終えたあとは、OGのみでフリーバットを打つことができなかつたOGもバットを振り、いい汗をか

ソフトテニス部

福岡県高等学校 新人大会:11月3日(土)

■久留米総合スポーツセンター テニスコート
 女子団体<1回戦> 福翔2-1久留米商業 <2回戦>福翔1-2青島
 女子個人<遠藤・樋口組>
 <1回戦>4-3尾崎・高畑組(九国大付)
 <2回戦>4-3平山・森組(嘉穂東)
 <3回戦>0-4嘉数・柴田組(中村学園) ※県ベスト16進出
 女子個人<松尾・福元組><1回戦>2-4中村・東組(久留米商業)
 女子個人<奥村・田中組><1回戦>0-4牟田・荒木組(小倉南)

バスケットボール部 男子

福岡県高等学校 新人戦県大会:11月23日(金) ■かずやドーム

1回戦:福翔60-45春日 2回戦:福翔56-67福岡西陵

バレーボール部 女子

新人戦 福岡県大会:11月17日(土) ■自由が丘高校

<1回戦> 福翔0-2美萩野

書道部

第22回福岡県高等学校総合文化祭:10月13日(土) ■宗像ユリックス

<書道部門>福岡県大会
 林田 桃子 全国大会推薦(第32回群馬大会)
 三宅 いず実 九州大会推薦(第14回長崎大会)

箏曲部(そうきょく)

第10回福岡県高等学校総合文化祭:11月4日(日) ■ミリカローデン那珂川

<日本音楽部門>さくら21(水野利彦編曲)優秀賞受賞

放送部

第22回福岡県高等学校総合文化祭:11月11日(日) ■九州産業大学

放送文化部門:福岡県大会
 <アナウンス部門>桐田 理子 4位 ※九州大会出場
 <ラジオドキュメント部門>
 「えらいこっちゃ」 2位 ※九州大会出場(12/13~)

演劇部

福岡県高等学校総合文化祭:11月17-18日(土・日) ■ももちパレス

<演劇部門>優秀賞受賞

さくら会ニュース

福商会の美人集団?「さくら会」は、女性ならではの視野を通じ、様々な活動を行っています。また、さくら会では、皆様のご参加をお待ち致しております。

「第2回さくら会」開催

林田スマさんを招いて講演

10月28日(日)、福商会館で第2回さくら会主催の講演会「女性が変われれば社会が変わる」を開催しました。昨年は同会場で「バザー」を行いました。今年には後藤専務理事からの紹介で、フリーアナウンサーとして活躍している「林田スマさん」を招いての講演会を企画しました。



第一部は部活OBの皆さんから、日頃の活動について話を聞きまし。野球部の秋丸先輩からは「甲子園出場への熱い想い」、サッカー古賀先輩の「指導者としてOBが活躍しているお話」、剣道部の平野さん、珠算部の川崎先輩、ブラスバンドの鶴田さんから、伝統に培われた活躍が目に浮かぶように感銘を受けました。

第二部はさくら会の名にふさわしいピクニックのブルザーを着た「林田スマさん」が颯爽と登場。スマさんはとても聡明で元気いっぱい、博多弁がペラペラで、機関銃のように発射される巧みな話術に、皆さんは熱心に聞き入り、時はアツという間に過ぎてしまいました。今回のテーマの「女性が変われれば社会が変わる」にふさわしく、自分の過去をひもときながら、アナウンサーの仕事についての心の变化など、一人の女性としての「生きかた」に感動を覚えました。世の男性の皆様も、社会で頑張つて働いたあとは、奥さんまかせにせず、自分の身の回りから始めることも大切ではないでしょうか。チョツと言いつぎかな。本当に貴重な時間を過ごしました。

母校で清掃、花壇の手伝い

生徒たちと一緒に作業

私達さくら会メンバー5人は9月21日、10月18日の2日間、PTAからの呼びかけもあり、福翔高校でトイレ掃除や花壇の手入れを行いました。久しぶりの訪問で、入口も分からず、ぐるりと学校を一周。私

木庭 しげ美(73回生)



作/立花 美千子 (73回生)

達が学んだ頃の校舎と新しい建物を見比べながら、卒業してからの年月の差を感じたものでした。1回目は1年生の生徒たちとトイレ掃除です。雑巾がけやモップ拭きでしたが、母親の気持ちになつてしまい、指図したりしましたが、生徒の皆さんはとても素直で楽しい時間を過ごしました。2回目は先生、生徒、保護者の皆さんと花壇を植え替えたり、プラントを洗ったり、学生気分に戻った感じでした。生徒たちとの会話も進学



生徒、保護者の皆さんと花壇を植え替えたり、プラントを洗ったり、学生気分に戻った感じでした。生徒たちとの会話も進学

今回参加のさくら会メンバー

- 平田 哲子(64回生)
- 伊藤 みき子(67回生)
- 藤野 明美(67回生)
- 尾形 由美子(67回生)
- 大野 詠子(80回生)
- 尾形 由美子

11月19日、さくら会(女性の会)の平田会長ら役員が会館を訪れ、「講演会の収益金を奨学資金に役立ててください」と持参されました。昨年もバザーの収益金をご寄付いただいております。さくら会の皆様に感謝申し上げます。

平成20年度
全国合同同窓大会のお知らせ

日時 平成20年6月15日(日) 午後3時30分から

会場 ホテルニューオータニ博多

会費 6,000円

みなさんのご参加お待ちしております!

お問い合わせは、福商会事務局まで ☎092(711)9890

恩師の先生

ありがとうシリーズ

美女と野獣のクラス



元福岡商業高校教諭
林力 (41回生)

(昭和33年5月)
(昭和47年4月在籍)

わるそうを集める

1958(昭和33)年5月、母校の福岡商業高等学校に勤めることになったのは、恩師曾木東海先生のお力添えが大きかった。72(昭和47)年3月に福岡高等学校に転出するまでの間に3つのクラスを担当した。時代は高度経済成長期。その頃の福岡商業高校に対する社会的評価と期待は大きかった。大学進学率は低かったが、生徒たちは次々に大企業に採用されていた。今のような社会の荒廃はみられず、学校は伸び伸びとした雰囲気にあふれていた。それでも「わるそう」坊主達はいた。今のような陰湿さはないが暴力やタバコを吸う者などがいた。一般的に1年生のクラス分けは、入学試験の成績に基づいて機械的に振り分けるので、私のクラスは平穏であった。私は2年生になる組分けのとき、同僚たちに頼んで、機械的に分けられた9つのクラスカードの山から、「これぞ」と思われる「わるそう」どもをほとんど全員、私のクラス

避けて通る他クラス生

授業1日目が終わつたとき、最大の「ワル」と思っていた男子生徒が、「話がある」という。宿直室で話し合った。「クラス分けがおかしか。どげなつもりで俺達ばかり集めたとな」と食い下がってきた。殴りかからんばかりであったが、「まあ、俺のすることを見とけ」とその場は収めた。確かに大変であった。他のクラスの生徒は「美女と野獣」と呼んで、教室の前を通ることを避けていた。足払いをかけられたり、スカートをめくられるからだ。2年間のうち、生徒指導部が問題にする、ありとあらゆる事例が起った。「タバコ」の常習犯は、家庭訪問の際「先生が来た」と急いで窓を開け、うちで煙をおおぎ出す。私が不在のときは、「担任がおらんから」と集団下校し、天神派出所に補導される始末。修学旅行にいったつては、頭を抱えることが幾つもあった。車中、特に気になる連中は、私の横に座らせていたのだが、うとうと居

に編入させて貰った。2学年の1日目、座席についた連中の顔を見て、さすがの私もたじろいだ。「わるそう」達が9クラスから全部引き抜かれて来ている。げげんな顔、興奮した顔もみえる。クラスの半数にあたる女生徒のなかには、「困った。とんでもないところにきた」という表情を露骨にしている者もいた。私の第一声は、「お前達は絶対一人も退学させない。しかし停学はありうる」と宣言した。それは、私自身への誓いでもあった。

眠りをしていると酒を飲み始める。

私が学校不在のとき、登校日にバスで乗り合わせた工業高校の生徒を教室の空いた席に座らせるなど…。この2年間に辞表を胸にした事3回。それでいて、全年9クラス中、教科平均点はいつもトップ。後で分かったことだが、テストが近づくと、各教科の得意な生徒がヤマをかけて配ってくれた。停学者の居場所はすべて宿直室と決めていた。停学中の生徒がいると誰かがノートを差し出し、励ましに出向いた。幸いなことに「野獣」達が「美女」と称えた女生徒達はしっかりと生きて、自ら「悪ガキ」どもの「係」を引き受けていた。私の説教や文句より「係」を自認する女生徒の、「何しようとな。しっかりしんしゃい」の方がこたえるようだった。

悪ガキが感謝の告白

また私の家も開放した。生徒達には出来るだけ、生活背景をみんなの前にさらけ出すことを勧めたが、これは中途半端に終わった。こうして2年間で過ぎたとき、停学者は数多くいたが、遂に一人の退学者もなく、全員旅立っていった。ずいぶん経ってから、ある「悪ガキ」だった者が、母親に「俺は、林さんのクラスでよかった。そうでなかったらヤクザに身を落としていたかもしれない」と話していたと言うことを聞いた。無性にうれしかった。これぞ教師のよるこびである。これが私の初めての同和教育実践のまねごとであった。彼らも60歳を超えた。彼らは結果的に私に禁煙させた。同窓会に出席すると、「先生、あれからタバコ吸いよらんとな？俺達はまだ、やめきらんばい。」の声がかかってくる。

野獣からの進路で大変お世話になった大恩師

林力先生

吉井 薫 (64回生)

在学中の林先生の思い出は、ウマズラ(馬面)とリン(林)・リキ(力)先生の印象を強く思い出す。それはクラスメイトが凛(リン)とされた姿に、力(リキ)が入った先生としての、ネームだったと思います。林先生の凄さを改めて感じた事は、卒業後も先生宅へ伺った折に、室内に置かれている書物の多さや、また多くの方の訪問があり、ビックリしたものです。

それから私は父親を早く亡くしていたので、社会人になった時から相談事が生じた時は、自然と先生の方へ足が向いていたと思います。中でも私にとつて一番の思い出は、扶桑薬品へ入社後、北九州市での勤務の時、「昭和45年第一回北九州市青年の船」に応募した旨を先生へ報告、その後面接を終え、合格通知を受け取った時、林先生のご尽力を感じたものでした。お陰様でその後の人生にとって、大変有意義になっています。またクラスの音信についてお会いする度に、「あいつはどうしているか、あの子は、今どこに居るか」など、常に気にしておられる先生は、今でも最高の恩師です。

19年度福商会 京阪神支部同窓会

11月10日(土)大阪市中央区のホテル「ザ・ルーテル」に32名が参加し、京阪神支部同窓会が開催されました。倉成支部長の挨拶から始まり、福商会本部川瀧事務長の本部活動状況、清水校長から母校の教育方針について具体的な活動報告がありました。



19年度物故者のご冥福をお祈りした後、会務報告が出席者の拍手をもちて承認されました。本年度も本部より支部支援

金が、川瀧事務長より支部長へ贈呈され感謝しております。贈呈式の後、石井先輩(32回生)の力強い乾杯の音頭で懇親会に入りました。

1年振りということもあり、お互い話が弾む中、46回生の徳安さんから朗朗たる詩吟の披露と、「博多仁和

加」やバナナのたたき売りの大熱演で、一同手拍子と掛け声で大いに盛り上がりました。吉田先輩(33回生)からは俳句を披露いただき、会も佳境に入ったところで高田さん(65回生応援団長)のリードにより、校歌、応援歌、凱旋歌を全員で思いを込め、日ごろ出したことのないような大きな声で合唱しました。

楽しい交流のひとつを過ごしたところで、来年の再会を約し、矢嶋先輩(33回生)の挨拶で閉会しました。

山口 利彦(62回生)

獅々児会同窓会 (44・45回生)

10月19日(金)、天神の福新楼で恒例の獅々児会を開催しました。

遠くは東京から田中正博、福田吉雄、別府から藤野守弘の3君が参加され、総勢で昨年を上回る30名の元美少年が集い、来賓として恩師大山安太郎先生、福商会から高木不二男副理事長、川瀧哲雄事務長をお迎えし盛大な幕開けとなりました。

司会者前田常喜君の挨拶で始まり、この一年間に物故された井上桐生、岩見一馬、山下登志哉、高木勇、上野昭、篠原強の6君に黙祷を捧げました。続いて来賓の高木不二男副理事長から福商会の近況並びに祝辞を頂きました。

記念撮影を済ませ、大山安太郎先生乾杯の音頭で宴に移り、和やかな中で学徒動員時代の話に花が咲きました。後半には校歌斉唱を角敷親君



が、博多祝い歌を前田常喜、小石原英照、安川栄一3君の発声により全員で声高らかに合唱。最後に博多手一本で会を締め、来年の再会を誓って閉会しました。

久我 輝和(44回生)

50回生 同窓会

福商卒業50回生は併中・別科を合めて、毎年10月の第3土曜日に同窓会を開くことにしている。今年は今会場の都合で、日曜日に筑紫野市の「天拝の郷」で開催した。

山口理事長が三菱キャタピラーと共同経営する、温泉付きレストラン兼宴会場であり、天拝山の麓に位置し、遠くは宝満山や四王寺山を望見し、眼下には二日市太宰府の市街を見下ろす高台にある。



卒業以来、今年は55年を迎えるので、静養かたがた参加を呼びかけたが、歳月の経過が加齢の重みは如何とも致しがたく、参加者は約1割(卒業生289名)となった。

しかし恩師の丸田先生、蔵本先生が、元気なお姿を見せられ、激励の言葉やお歌を頂いた。また、福商会からは、後藤専務と川瀧事務長が出席され、会の活動や、母校の状況などの報告があり、和気あいあいの内に料理や酒を味わい、来年の再会を約して散会した。 山地 政美

丸田先生の歌

同窓の集ひに寄せて
この年も同窓の集ひに招かれて
思ひ出を追ふは楽しからずや

平成十九年十月二十一日

丸田 洋

51回生 同窓会

私たち51回生は、野山が徐々に色付きはじめた11月8日(木)18時から、KKRホテル博多で合同同窓会を行いました。

昨年までは元気で出席された出利葉先生が亡くなられ、奥様も病氣入院中で、大変お元気な蔵本先生が出席されました。

今回は東京から森田君、蒲田君、大田さんの3名が出席し、総勢58名の参加(昨年は45名)でした。

福岡美術館で個展を開いている西村君による記念撮影後、福商会と母校福岡高校の現状を説明し宴会に入りました。いつもの事ながら食事よりも想い出話に花が咲き、博多仁和加やカラオケで一段と盛り上がり、あつと云う間の3時間でした。



最後に校歌や応援歌を合唱し、皆さんの健康を祈って万歳三唱して幕を閉じました。平成20年も11月に予定しています。

51回生の皆さん!お誘い合わせのうえ是非参加して下さい。お待ちしております。

磯山 嘉郎

卒業50周年
記念同窓会(55回生)



私たち55回生はこれまで50歳を記念して合同同窓会を開催し、その後55回生をもじってGOGO(55)会、60歳の還暦同窓会、65歳の年金同窓会と5年毎に開催して来ました。そしてこの度卒業50周年を記念して、去る10月19日、恩師蔵本先生、福商会の秋丸副理事長にご出席を頂き、全国から95名の同窓生が駆けつけて盛大に挙行されました。丁度70歳の「古希」とあるという

時間もたつのも忘れ、大いに盛り上がりました。次回の同窓会は「みんな元気だ喜寿(77歳)の祝いをやろうじゃないか」と、博多手一本で終了しました。

永島 光雄

61回生
「心のゆとりを作る会」の
秋の例会

小さな秋をたずねて10月8日〜9日1泊2日で久住高原へ。途中天領日田で名高い豆田町を探索し、江戸時代の雛人形に出会い感動。何十年かぶりに幼い気持ちにかえることができ嬉しく思った。

一大観光名所となった日本一の「夢の大吊橋」は、吊橋の長さ、吊橋から眺める深谷の深さ、震動の滝の景観は素晴らしかった。

宿泊の「やまなみ荘」に着き、天然温泉につかり極楽！極楽！。極楽湯の後は盃を酌み交わしての宴、秋の夜は最高潮。一夜明けて、森林浴と「かくし水」を尋ねる行動。男池の湧き水(とてもおいしい水)の源を訪ね、のどを潤す。起伏の激しい遊歩道を、森林浴しながら「かくし水」を求めて片道40分ほど奮闘してたどり着く。ここで「かくし水」を沸かし、自然の「かくし水コーヒ―」と、日田で入手した焼酎を継ぎ足し「かくし水コーヒ―割り」を存分に楽しむ。



今回の「癒しの旅」を振り返ると、今までにいろんな旅をしてきたが、これほど「心に刻まれた」旅は初めてであった。

峯元 勝俊

帆足行敏先生の
喜寿を祝う
61回生3年4組クラス会

帆足先生喜寿おめでとうございませう。我らの恩師帆足先生の喜寿を祝し、伊藤・中島・浜本3君の発起で11月3日、八仙閣で奥様も同席いただき祝賀会を行いました。



帆足先生は掃除を実践することに、場を变え環境をよくする。また人に感謝する心が生まれ、健康長寿の基となるなどの、素晴らしい人生の生き方の喜寿講義を受けました。さすが77歳の人生を實踐してきた糧のものと、心は、心に響くものでした。

頭と心の体操の後は笑談の渦。神戸から室永君、四国丸亀から松本君も駆けつけてくれて、盃は進み祝賀の宴は最高潮。時はいつのまにか過ぎ、「帆足先生いつまでも健康で、次は米寿の祝いですよ」と、全員で校歌・祝いめでたの合唱、そして博多手一本で締め終宴。

内藤 博

62回生3年7組登山会

11月3日(土)文化の日に、62回生3年7組の「サンキユウみのる会」で、「天拝山登山と二日市温泉」に7名の参加でしたが、行って来ました。

当日は絶好の秋晴れの天気恵まれ、JR二日市駅から天拝山の頂上を目指しました。天拝山は258メートルの高い山ではありませんが、山頂付近には400段程の階段があり、日頃運動不足の人は、休憩しながらの登りとなりました。山頂の展望台からの眺望は素晴らしいもので、九州国立博物館・宝満山・四王寺山・福岡空港・福岡市内・ヤフードーム・志賀島・能古島と見渡すことができ、いい汗をかくことができました。

帰りには、二日市温泉「御前湯」に立ち寄り、入浴料200円で汗を流し、「花こうじ」の野菜バイキング873円で昼食を満喫し、無事に終了しました。

皆さんも行かれたことがあるとは思いますが、もしまだの方はお勧めのコースですので、行ってみたいかどうか。



大西 正則

64回生 還暦合同同窓会

もう60歳になったのか。昭和38年4月に我々64回生は、福商最後の堅粕校舎への入学、そして野多目校舎を卒業して42年。480名の同窓生の中から平成19年11月3日の還暦同窓会への出席者は151名で、皆が若いと感じる熱気あふれる還暦同窓会でした。

当日のスタートは、各クラス対抗ボウリング大会で盛り上がり、計画してくれた2組の根上君の提案が見事に当たりました。遠方からの出席者や、卒業以来初めての参加者ありで大変にぎわった3時間でした。

これも63回生から「一年前からの準備とスタッフを揃えなさい」とのアドバイスと、会場のセントラルホテル小嶋総支配人(59回生)のご協力があったので成功だと思っています。



実行委員長 吉井 薫

68回生 学年同窓会

10月7日、昭和45年3月卒業の68回生学年同窓会を開催しました。場所は毎度おなじみの八仙閣で、当初の参加予想を大幅に上回る143名の参加者がありました。関東から8名、関西から7名の参加に加え、福商会から山口理事長、後藤専務理事をお迎えし、当時の担任の石割、家人両先生および上山元校長先生も参加され、盛大に催されました。



3組の千々和一美さんの司会進行で始まり、卒業以来37年ぶりの再会あり、クラブ活動や文化祭の話、キャンプや様々な思い出話で華やかに咲き、クラスや各クラブの集合写真撮影のころには、場内の興奮は最高潮に達しました。また、福商会会費(2,000円)の納付をお願いしていましたが、集金役の2名が楽しさのあまり、集金を忘れてしまうというハプニングも起きました。68回生の皆様、納付をよろしく願います。

締めは森応援団長の指揮による校歌、応援歌の斉唱。楽しく充実した3時間は37年前にタイムトラベルしてとても早く感じられました。

次回は60歳を迎え還暦の同窓会を行うことを全員で確認し、それぞれ二次会・三次会へ足を運びました。実行委員の皆様、お世話いただきありがとうございました。

残念ながら、参加できなかった方も次回ぜひ参加していただきたいと思えます。

藤木 直幸

83回生 学年同窓会

平成20年第58回全国合同同窓大会の当番幹事となる、83回生の学年同窓会を、8月4日天神テルラで開催しました。約10年ぶりの同窓会で、



83回生のみなさん、右端は実行委員長の井上さん

連絡が取れない人も多くいた中、58名の参加者があり、楽しいひと時を過ごしました。当番幹事としてプレッシャーを感じながらも、これから1年間、皆で協力して楽しくやっていこう

と旧交を温めました。83回生のみなさん！これから大会に向けてよろしくお願います。

大神 智香子(旧姓中嶋)

第45回 珠心会開催

11月2日に天神テルラで、第45回珠心会総会を開催しました。22名の参加で、川崎副会長(70回生)の司会で進行。会務報告、会計報告の後、下川先輩(62回生)の乾杯でスタートしました。

田中ますみさん(71回生)の長男(義樹君)小学6年・初段)が持参した暗算機能がついたフラッシュ電卓で競技を行い、10段にチャレンジする同輩もいて、大いに楽しみました。来年の当番回生(83回生)と再来年の当番回生(84回生)から「珠心会は続けて行きます」との力強い決意をいただき、事務局一同改めて杯を交わし、今後のOB会の発展を祈念し散会しました。



珠心会 会長 善生喜利(69回生)

福商応援団洋治朗会を開催

残暑厳しい9月16日に天神テラホールで、遠くは沖繩、大阪からの参加も得、洋治朗会並びに才田・橋田両先輩(64回生)の還暦祝いを開催しました。
藤井安河内両先生の出席を頂き、なつかしい思い出や応援団独特のしごきに耐えた話など、いろいろと話は尽きない中、単に応援団に対する思い入れだけでなく、福岡商業という母校への愛校心の強さを、より深く考えさせられた会でした。
最後は当然、校歌とエールですが、校歌応援歌1号にとどまらず、追遥歌・応援歌2号・察歌と続き、まさに感動のシーンでありました。あらためて福商に対する愛着の深さを認識した1日となりました。



寺崎 裕幸(67回生)
ました。来年の再会を誓って全員が二次会へ、これも応援団ならではであります。

太宰府支部総会

平成19年度総会及び懇親会を去る10月18日、恒例「すし栄」で開催しました。



今回は懸案事項の支部長及び幹事

交代に関して、会員の欠席が多く議決に至らず、老害ではありませんが、30回生先輩の意見もあり、ご指示により吉住(42回生)留任ということで、お世話することになりました。

なお幹事として大西正則さん(62回生)・会計松岡恵子さん(78回生)に引受けていただく事になりましたので、支部長ともども何卒よろしくお願ひ申し上げます。

太宰府支部会は、年2回、春の観桜会、秋の観月会としてこれまで定例開催しており、会員以外でも三千円で飲み放題ですので、気軽に参加下さい。一杯飲んで九州国立博物館見物はいかが!! 来年は4月第一土曜日を予定しております。

吉住敬造(42回生)

55回生「奨学育英基金」へ寄付 卒業50周年記念として

10月24日に理事会が開かれましたが、その席上55回生の永島光雄理事と後藤幹生専務理事から「卒業50周年を記念して、同級生から募金を行い100万円が集まりました。奨学育英基金に寄付します」と持参されました。55回生皆様のご厚志に心から感謝とお礼を申し上げます。

我々55回生一同は、2年余りをかけて準備してきました「卒業50周年記念募金」も各クラスの幹事の協力と、同輩諸氏の絶大なる賛同を得て目標を達成しました。ご協力を頂いた方は次の通りです。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 吉嗣 弘子 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 | | | | | | | |
| 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 | |
| 吉武 英敏 | 中島 賢一 | 鳥谷 清一 | 山崎 清一 | 糸永 芳宣 | 秦 康幸 | 森 康幸 | 永島 光雄 | 松本 欽一 | 江木 裕朗 | 河野 弘子 | 松尾 茂子 | 泉 美也子 | 佐藤 直美 | 内藤 京子 | 井上 節子 | 安武 浩之 | 今林 定巳(做) | 山内 孝夫 | 森田 博章 | 奈良崎 毅 | 船越 美寛 | 甲斐 秀明 | 中村由美子 | 大内田静子 | 園田 優子 | 久保 幸子 | 濱田由美子 | 池田登代子 | 森 夕子 | 樋口 健児 | 藤 義勇 | 金丸 勇 | 三木 晃 | 山根 建次 | 飛田 毅 | | |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安元 哲子 | 古家萬里子 | 水田 勝敏 | 中畑 英彦 | 藤野 久和 | 木村 博昭 | 安河内 悟 | 砥綿 昭蔵 | 関 修治 | 梅津 武敏 | 原 素憲 | 下川 弘之 | 森光 浩三 | 播磨 弘昭 | 山口 貞嘉 | 中根 典子 | 田中 和子 | 武藤 澄子 | 入江 照子 | 坂本 国恵 | 牟田 時子 | 小島 貴子 | 南 徹 | 西村 英俊 | 瀧田喜代三 | 田中 博 | 米沢 二郎 | 角倉 健司 | 森山 裕繁 | 石井 堅 | 牛尾 静雄 | 渡辺 正孝 | 山口 耕陽 | 山口 昌道 |
| 山口 完治 | 藤野 忠義 | 森 石根 | 福島 勝也 | 安 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

福商時代が、



僕らの青春

陸上競技部

南原 茂 (71 回生)



今回、福商陸上部のことを書いてくれと言うことで、昔を思い出しながら筆をとりました。

自分たちの3年間のことを書くのですから、先輩および後輩の練習風景や試合風景など、かなりの違いがあることはご容赦願います。

危うかった部の存続

私たちの学年で陸上競技部に入部したのは、たぶん男8名、女5名の計13名だったと思います。実は一つ上の先輩は男女合わせて2名というところで、もし私たちの入部がなければ部の存続危うしという状況でしたので、先輩方はかなり喜んでおられました。なにせただ走るだけ、投げるだけ、跳ぶだけの単純なスポーツですから、はつきり言ってあまりおもしろいスポーツではありません。同級生の仲間からも「何がおもしろくて陸上なんか？走るだけで

楽しいのか」と言われたもんです。おまけに、個人競技ですので、個性の強い変りもん集団です。しかしその変りもん集団が不思議と、まとまったチームワークの良いクラブになりました。

素っ裸に女生徒悲鳴

特に、後に副主将になるT君は本当に良いやつでもおもしろいやつでした。夏など練習後、疲れ切った汗まみれの体を引きずるように部室がある棟に行くのですが、1階シャワー室で、彼はシャワーを浴びた後、大胆にもスッポンポンの上に濡れたタオル一枚腰に巻いて、2階の部室に戻ってくるのです。女子高生もいっばいいる中をです。女子高生たちは、その姿を見ると悲鳴を上げて逃げます。今考えただけでも大胆というか何というか……。毎回そうなので、ある日私は彼とシャワーを浴びた後、一緒に部室に戻る途中の階段踊り場でそのタオルをとって逃げました。その時、彼は手に持っていた体操服で前を隠すだろうと思っていましたら、T君は完全に固まってしまい、ただただ私に「前を隠してくれ」と頼むのです。普通なら自分で前を隠すんですけどね。後にそのときのことを聞くに完全にパニックを起こしたとのこと。私たちの中では今でもこの話が出るの大笑いです。

また、皆さんスポーツされた方なら知っておられると思いますが、サロメチールという塗り薬があります。この塗り薬は炎症を抑える薬で、塗るとかなりスースーヒリヒリする軟膏です。もうそれはそれは、何と言っているか……。たまたま後輩が部費を忘れたということ

で、みんなで押さえつけ、これを大切なところに塗りましら、「熱い熱い」と暗くなったグラウンドをスッポンポンで走り回り、その後手洗い場でごしごしと洗っておりました。翌日、彼が部活に出て来ないので、ほかの後輩に聞くと学校を休んでいるとのこと。これはまづいと心配していましたら、翌々日、部活に出てきました。謝るようにして理由を聞くと、「裸で走り回ったので、風邪をひいた」とのこと。みんなで大笑いをしました。この後輩も陸上部をやめることなく、私の後の主将として活躍しました。バカなことばかりやってましたが、練習は真剣に取り組みましたよそれは。

練習計画書で猛特訓

顧問の上野先生はサッカーの先生です。練習についてはいろいろ言われません。そのためみんなで陸上月刊誌や練習の仕方が書いてある本を買い集め、練習計画書を作り、かなり濃密な練習をしました。インターハイになんとしても出場するんだという気持ちで、二丸となって練習に向かったのだと思います。おかげで、私は1年からインターハイに短・中距離走で出場し、和歌山、香川、山形と3回も出ることが出来ました。特に3年生の時には、みんなの念願であった山形大会に、1600Mリレーで出場し、私は800Mで4位入賞を果たしました。私は充実した3年間の部活を送ることが出来たことを、いつも息子達に自慢するのです。そしてなによりも大切な生涯の友を得ることが出来たことには感謝感謝です。

同舟往來

正木 利造さん(42回生)



このほど辺見宇平のペンネームで「子安観音殺人事件」を東京の近代文芸社から出版した。正木さんにとっては前作の「赤石岳殺人事件」に次ぐ二冊目の作品だ。題名はいささか物騒だが、どちらも戦争が生んだ悲劇がテーマである。

「子安観音」は60数年前の太平洋戦争中の福岡大空襲が舞台。終戦直前の崩壊寸前の環境から、徴兵逃れの脱出を図って殺人を犯し足跡を絶った青年。残された名札を手がかりに幻の男を追う刑事の執念という設定。

「弱い立場の人びとが犠牲になる、それをわれわれは先の戦争で痛感した。あつてはならないことだ。私ども年配の者はそれを後輩に語り継ぐ義務がある。そうじゃないですかね。」

戦争も末期、動員先の軍需工場工員寮で行われた卒業式の最中、足元に伝わってきた空爆の遠雷を思わせる轟き。空襲後、被災者の耳に伝わったビル地下室の折り重なった焼死体。それらはいまだに鮮明だ。「この年齢になると、だんだん周りが寂しくなってくる。生きた証とでも言うんですが、何か残して置きたい、そう思うもんです。」

工場や農村への動員続きで、商業時代に在籍した水泳部の練習は中途半端だったが、進学した大学水泳部の合宿所では「嫌というほど鍛われた」という。新聞社に勤めて30年余り。そのうち10年近くはスポーツ記者だった。今でも県スポーツマンクラブの創立時からのメンバーである。81歳。

本をご希望の方は発行元の近代文芸社にお申し込みください。(東京都文京区目白台2-13-2) 西嶋 三七男(45回生)

同舟往来

同舟往来

堀 季雄君(51回生)



福博の街で「(有)堀兄弟運送」のトラックを見かけた人も多いと思います。この運送会社こそ福商51回生の堀季雄君が興した会社です。

堀君は福商高校2年生の昭和26年に、兄さんと2人で「堀兄弟調味料店」を開業し、味噌、醤油の販売を始めました。学校から帰ると配達や店番。日曜、祝日は朝早くから夜遅くまで、配達と勉強を両立しながら一生懸命でした。昭和37年、食品業界に先行き不安を感じ、これからは物流時代到来を見据えて、結婚と同時に昭和37年10月「堀兄弟運送」を興し、昭和54年10月に「(有)堀兄弟運送」としました。

オープン当初、従業員は堀君以下3名とトラック4台で始まった会社は、現在トラック70台、従業員108名、3営業所に大きく成長し、今年で45周年を迎えました。これには奥様の弘子さん(福商OG)の内助の功があったればこそであるが…。取引先は味の素、ハウス食品、大和物流の大手企業をはじめ27社にも及び、物流範囲も九州は勿論のこと、広島、関東まで広がっている。

平成14年に社長を長男の秀明氏に譲り、彼は会長となり大所高所から目を配っている。会社のモットーは「今日も元気で!」。「(有)堀兄弟運送」のトラックは、今日も元気で九州一円から広島、関東へ安全運転で走っている。

大塚 重敏君(52回生)



彼は宗像郡上西郷村(現・福津市)の農村から通学(彼の自宅での結婚式に出席した印象から

は相当な田舎)、在学中からしっかりと考えたの持ち主で、弁論大会などでも説得力のある話し振りであった。

卒業後、全購連(現J.A全農)に入会した。彼の卒業後の勉強ぶりは格別で、母校の恩師丸田先生の学問と思想に啓発され、勤務のあと毎月一回、先輩の山地さん(50回生)ら数人と「日本学」の勉強会を開き心身を鍛えた。「私も住吉神社・社務所での吉田松陰学習会に出席していた」これによって国家や社会に眼を大きく開き、政治や社会問題に対し、読売新聞をはじめ他紙に積極的に投稿した。

全購連では、本所・東京・大阪の勤務をはじめ、ヨーロッパ・アメリカなど海外出張も多く経験した。業務能力を高めた彼は、判断力・指導力・誠実さが認められて、昭和62年から平成2年まで農協組織の九州地区を統括する全農福岡支所、職員約400名の支所長を勤め上げた。勤務のかたわら雑誌「日本」への寄稿や講演の演壇にも立った。現在、神奈川県湯河原町の温泉つきマンションで、奥さんと悠々自適の生活を送っている。

竹森 秀己君(53回生)



卒業後、福岡市教委、J.A中津屋、不動産銀行、ホテルアイビス、日債銀コンピュータ

を経て、63歳でアート引越センターを退社。今は社鹿会(地域の老人会会員93名)の会長を務めている。

彼の生き方は、まさに「誠実一途」であった。そのエピソードとして2〜3題。勤め先がサービス残業の職場で、業務終

了時間になると女子社員は帰宅させて、残りの仕事を明朝3時〜4時頃までかかって片づけた。また猜疑心(さいぎしん)の強い上司が、彼の部下を誤解して叱る様な場面が生じると、部下と上司に対し罵声を浴びせて、叱る場面を終了させたなど。

営業担当が長く、下戸であるが取引先との酒宴も務め、取引先より本当の接待を頂いたと感謝されたことがあるなど話題は尽きない。昨今は趣味として、漢詩勉強会、料理教室、ゴルフを続けている。また、「今から毛筆の勉強を始めたい」と言っている。

彼を省みて「ほんとに良い人々に恵まれた」との思いである。至って元氣!張り切っている。

坪井 喜代美さん(67回生)



高校生の君は美しく輝いていた。もちろん今もそうである。卒業後一時、会社勤めをして

いたが、持ち前の美貌とバイタリティーが接客業へと進ませた。中洲でのスナックの開店がそれであった。その事が今の彼女を決定づけたのかもしれない。

縁あって中洲のお好み焼きの名店「とん平」の二代目社長と知り合い結婚。商売と子育ての両立は大変だったはずである。しかし、今では「とん平」と「壺や」の屋号で有限会社ととん平の副社長として、毎日を若々しく飛び回っている。前にも述べたがいまだに素晴らしい笑顔と美貌は健在である。(少し持ち上げすぎか)一度ご覧あれ。

とにかく博多お好み焼きの名店として、更なる発展に多大なる貢献をしている

ることは誰しもが認める。今後の活躍と会社の繁栄を強く望む次第である。ただいま自社ビル建築中のため「とん平・原店」は休業中。平成20年6月オープン予定。

藤原 みはるさん(79回生)



在校中は演劇部に所属し、鞆の中にはいつもお菓子あり(?!?)の明るい元氣な高校生でした。

福商卒業後は、資生堂に就職。そこで美的センスを磨いたあと、旅行会社の添乗員になり、世界中を飛び回るという多忙な日々を送っていました。そうかと思えば、山梨のペンションでアルバイトをしながら、お菓子作りを学んだり、アンティークの食器の買い付けをしたりと、好きなことに向かっている行動力は、本当に素晴らしいものです。そんな彼女にはいつも感心し、驚かされます。

同級生の藤原君との結婚にも驚かされましたが、その後勢いは止まりません。子育て中にお菓子作りにも本格的に目覚め、このお菓子をどうにかできないものかと考えた末、宅配を始めました。そして、とうとう7年前長住に「おやつと雑貨のお店 スプーンフル」を出すまでに至りました。

現在、焼き菓子を中心にしたおやつと、幅広い雑貨を取り揃え、ホームページでの販売、発送もしています。彼女のセンスと明るい性格にお店も好調で時折、雑誌やテレビに出たり、また、小・中学生の二人の娘の子育てにと、大忙しの毎日を送っています。

井上 慶子(79回生)

夢の 全国制覇までの 道のりと 幻の戦略



貝島炭鋺に入社

佐々木義明(47回生)
(旧姓 松永)

昭和24年3月卒業の直前、戦前極東大会、東亜大会の日本代表で活躍され、当時は「バレーの神様」と呼ばれていた佐藤賢吉氏(修猷館)大阪外語大)に誘われ、直方の貝島炭鋺に入社した。貝島そのものは弱体チームであったが、筑豊地区で佐藤氏を中心に全国制覇を目指して「直方スピヤーズ」が結成された。

貝島で半年間プレーしたが、香椎での試合で腰を痛め、腰椎分離症と診断され、バレーを諦め博多に戻った。治療に専念して痛みがとれた頃、九州配電の佐々良輔先輩(34回生)に誘われ入社。そして一年、全国大会出場の意欲は忘れ難く、佐々先輩には申し訳なかったが貝島時代「直方スピヤーズ」で共にプレーした三井鉱山田川の中里寿氏(明大OB)がその後移られた小倉製鋼に誘われ入社。

初優勝を逃し翌年雪辱

小倉製鋼は当時全くの無名。天皇杯を獲得した広島の高豪嚶鳴(おうめい)クラブから2人を補強し、一応の

勢いが整った。そして翌26年、全日本実業団選手権の県予選を勝ち抜いて、山形県鶴岡市での全国大会に初出場。次々に名のあるチームを破り、遂に決勝で前年優勝の八幡製鉄と激突した。1セットをとり、2セット目をとられ、3セットを有利に進めている時、本席に並ぶ10個のカップが目につらいついて、以心伝心。皆が若しやと思ったように、ふわふわと足が地につかない状態に陥り、土壇場でのシーソーゲームの末敗れ、残念ながら初優勝を逃してしまつた。

翌27年、全日本実業団選手権は、四国の西条市で開催。快調そのもので勝ち進み、決勝は前年同様、強豪八幡製鉄。悔しかった思いを胸に刻み、最初から一気に打ちまくり、遂に全国制覇の野望を成し遂げることが出来た。

住友金属の快進撃

昭和28年小倉製鋼は住友金属に吸収合併された。それからの快進撃は、手前味噌で恐縮ながら成果を記すと次の通りである。

- (1) 全日本実業団男子選手権大会 27・28・29・30年 優勝
 - (2) 全日本総合男子選手権大会(天皇杯) 28・32・34年 優勝
 - (3) 全日本選抜都市対抗優勝大会 31・33年 優勝
 - (4) 国民体育大会秋季大会 30・31・32年 優勝
 - (5) 全日本選抜優勝大会 31年 優勝
- 国際舞台への登場**
- (1) 昭和29年、日本代表チームの一員として香港遠征。全香港ほか現地チームに8勝1敗

- (2) 昭和30年、アジアバレーボール連盟結成記念大会アジアバレーボール選手権優勝
 - (3) 昭和31年、中華民国(台湾)星隊来日、福岡大会に住友金属が対戦2対0勝利
 - (4) 昭和33年、第3回アジア大会(東京)優勝、金メダルを獲得
 - (5) 昭和36年、日本バレーボール協会の推薦により住友金属単独で台湾、香港遠征
- 台湾戦 糧食局、海軍ほか 8勝1敗
香港戦 全香港、華南隊ほか 7戦全勝



S33年 第3回アジア大会 日本対韓国戦 松永のスライク(現姓佐々木)

幻の移動攻撃

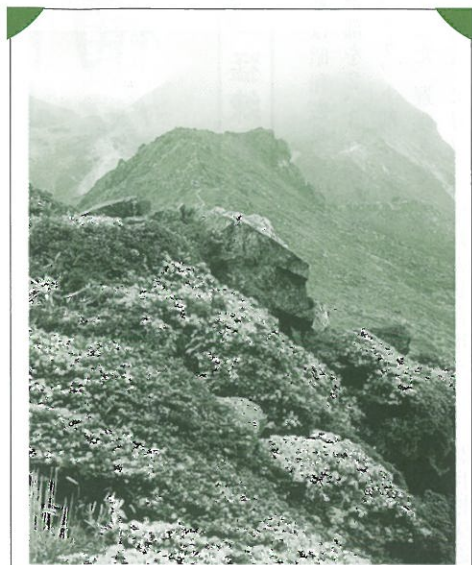
片足ジャンプは今でこそよく見られるが、その元祖は自分だと自負している。セッターによるトスは、常に安定しているわけではなく、バラつき大有り。時にはバックステップしながら叩くこともある。当時は短か過ぎるトスは打てないものとされていたが、ある時、

片足ジャンプで跳びつければ結構打てることを知った。これが意外とポイントに結びつく。それからは戦略的手段として、平行トスをレフトのライン際まで低く流れさせ、片足ジャンプで走り込むとプロックは遅れ、ほとんどポイント出来たものだ。いや、これをブロックされた記憶はまず無い。当時これは「俺の専売特許だ」と大いに満足していたものだった。

レフトからライト側への移動攻撃は、最近では珍しくもなくなり、特に女子の国際試合では相当の効果を上げている。これはセッターが低い平行トスを、ライト側に流したボールを、レフトから片足ジャンプで追い掛け叩くスライク。これを国内で誰よりも早く実践したのを、昔のことながら今も忘れない。それは昭和31年台湾の星隊が国際親善を目的として来日し、福岡スポーツセンターで、われわれ住友金属が単独で対戦した時のことである。親善試合ならばさまざまな試合は出来ない。

それなら「一本」と言う時に、確実に決める「秘中の秘」は無いものかと、自分なりに思索したのがこの移動攻撃。得意とする片足ジャンプで、反対側に流れるボールをフルスピードで、追い掛ければ叩けるかも知れない。「よし!!これを練習してみよう」と、皆に協力してもらい、やつてみたらそう難しくはなかった。

「これはいけるぞ」と、福岡での台湾星隊との緒戦に使ったら、真下に叩くことが出来、見事に成功した。ゲームのその後は気分的にも楽に進行したので、再びこれを使うこともなく、幻の一本となつてしまった。テレビで日本の女子チームの選手たちが、この移動攻撃で「バシバシ」決めてのを見てみると、その度に台湾星隊との幻の一本が、懐かしく思い起こされるこの頃である。



山腹に咲きほこるミヤマキリシマ



登山仲間と筆者(右から2人目)

職人の家庭で育ったせいかわ、私の趣味は書道、篆刻、陶芸などを楽しんでいきます。私のもう一つの趣味は山歩きです。その山歩きで、私

鹿児島 史浪 (53回生)
元福岡倉庫社長

私の趣味

my hobby life

が推奨するのは、大分県西部の久住連山です。標高1,800メートル近い山並みが広がっています。高校時代から登り始めて、今も久住連山の登山道が、頭の中に記憶されています。いどこ寄り「遊歩会」を作り、法華院温泉山荘を経由して、久住、大船、三俣、星生、平治など何回も登りました。我々の年代では、かなりハードですが、ゆつくり歩いて決して急がないことが、山歩きを楽しいコツです。ミヤマキリシマの咲き誇る6月初旬に行くと、山一面がピンク色に染まり、例えようのない美しさになります。何回登っても久住連山は飽きることはない素晴らしい山です。

山頂で下界を見下ろしながら、ふと仕事のことを考えるときがありました。例えば倉庫の増設、建築計画で入口はどこにしたら良いのかを考えている時など、結構よいアイデアが浮かんだものでした。私は昭和30年代から平成16年まで50年間福岡倉庫で働き、退職後も久住連山の美しさが忘れられず、ときどき出かけることにしています。

ミニ情報

紙塑人形の創始者で人間国宝の故鹿児島寿蔵氏は伯父にいたり、父上も博多人形師として活躍されました。紙塑人形とは、粘土に紙などを混ぜて練り、それで作った人形。

奨学育英基金へ寄付

今年の全国合同同窓大会の当番を務めた82回生の実行委員長柴戸幸司さんから10月24日、大会剰余金を「奨学金に役立ててください」と寄付がありました。82回生の皆様の心温まるご厚情に心から感謝申し上げます。



また他にも昨年5月にご逝去されました故吉村清様(27回生)のご家族から「奨学育英基金に役立ててほしい」と多額のご寄付がありました。吉村様のご厚情に心から深く感謝申し上げます。

樟栄会(46、47回生)の皆様、本多英三先輩(36回生)からも、奨学資金にご寄付がありました。重ねて皆様の母校愛に心からお礼申し上げます。

憧れの 補欠登録

猛練習に耐え抜く

私は昭和27年に入学し、テニス部、剣道部を2、3日間経験し、最終的にはバスケット部に入り3年生まで続けました。遅咲きですが、2年生のとき「補欠」に昇格し、憧れの試合用ラニンングシャツを支給されたときは感激しました。練習は人一倍熱心で、利き腕の右に加え、左手でもボールが自由に操れるよう、左手でバスケットボールの遠投を行ったり、小さなドリブルでのダッシュなど猛練習しました。10回に1回は左手シュートが決まるようになり、右足が軸足になることも発見しました。

正選手の夢はかなく

バスケット部で辛かったのは夏、冬の合宿練習でした。夏合宿での思い出は、失敗を重ねると罰ゲームで「バスケットコート20周のウサギ跳び」と「水を飲むことの禁止」でした。違反ですが、何度も何度も顔を洗うふりして、水分を補給し急場をしのいだものです。冬の合宿では足腰を鍛えるため、試合スタイルのラニンングシャツに短パン姿で、小雪舞うなか「板付」までの往



Yoshitiko Hagiyo
萩尾 善彦 (53回生)

復。さらに室内練習のあと、やっと8時に朝食でした。若いときの8時朝食は、寒さの厳しさより、なにより腹にこたえました。これほどの無理、不摂生をしながらも、誰も病気になるのが不思議なほどでした。

私も体力には自信がありました。2年生の夏合宿時、風邪で発熱してしまい練習は休まされ、炊事班を命じられました。せっかく「補欠」に登録され、レギュラーを夢見ながら努力してきたのに、こんなことで不動の「補欠」が確定してしまいました。バスケットは中学のときからしていましたし、小学校のときは野球の選手で2番レフトです。中学ではバスケットのほかにはバレー、テニス(軟式)、卓球の学校代表選手でしたので、今でも運動神経は人並み以上のものを持っていると思っています。

常々好奇心持ち挑戦

一方、勉強も一生懸命しました。バスケット練習が終わると、1時間30分かけて家に帰り、それから勉強です。いつも学期末試験の結果が、成績順に体育館通路に貼り出されていたので、その結果に心を痛めたり、再起を誓ったり一喜一憂していました。私はいま、破綻した金融機関の清算事務をしてい

ますが、清算業務も終わりに近づき、折衝相手が警視庁、検察庁、裁判所、整理回収機構、預金保険機構など、これまでの銀行員生活と違う職場ですが、楽しく仕事をしています。

最後になりますが、福翔生の皆さんにお願いです。何事にも好奇心を持ち、何事にも挑戦してください。これが成功の始まりです。そして皆さんの

8校OB野球大会で 野球部OB会優勝 9年ぶり2度目

11月3日・11日に春日球場、博多工業グラウンドで、「第38回福岡市内8校野球大会」が開催されました。昨年は当番校でしたが、惜しくも準優勝に終わり、今年は昨年の雪辱を胸に秘め、



福岡市内
高校OB野球大会

頑張り、母校がますます発展されることをお祈りいたしております。

旅立った彼のその後

彼は、昭和30年卒業後、日本勧業銀行(現みずほ)に就職。福岡、京都、大阪、本部など13カ所を勤め、3カ国語をお陰で話せるようになったと言っていた。

友人の石橋康平さん(53回生)談話

OB一丸となり優勝目指して試合に臨みました。1回戦は筑紫ヶ丘高校OBと対戦し、5回に逆転され1点差で迎えた最終回、2アウトから山口裕介選手(101回生)のサヨナラヒットで劇的な勝利を収めました。

続く準決勝は、昨年決勝で敗れた西南学院高校OBとの対戦です。序盤に6点リードされましたが、中盤に一気に9点を上げ、逆転に成功。しかし、同点にされ時間切れにより、抽選で辛くも勝利しました。決勝戦は大濠高校OBと対戦し、5対3で9年ぶりに2度目の優勝を飾りました。

引き続き各校100名ほどが参加して行われた表彰式、懇親会では、福商野球部OB会の秋丸武土会長(58回生)へ優勝トロフィーが手渡されました。また最優秀選手に白垣清志(68回生)、優秀選手・栗原功充(78回生)、功労賞・江口正秀(72回生)の3名が選ばれました。代表して白垣氏から「来年も2連覇目指して頑張りなす」と力強い言葉がありました。

野球部OB会幹事

栗原功充(78回生)

第38回 福商会ゴルフ大会



優勝者 左から鈴木(50回生)松本(56回生)北野(83回生)のみなさん

秋晴れの好コンディションに恵まれた9月26日、「第38回福商会ゴルフ大会」が、筑紫ヶ丘ゴルフクラブで開催されました。当日は49回生から83回生までの96名が参加し、日頃鍛えた腕を競い合い、好打、珍打ありのなか、同窓同士の交流を深めました。

第38回 福商会ゴルフ大会開催 珍プレー続出? 大いに盛り上がり交流深まる

プレー終了後は表彰式に移り、優勝、準優勝や飛賞、最高齢賞、ヤング賞などが山口毅理事長、小嶋康博大会実行委員長から手渡され、会場は楽しい雰囲気です。

今回も同窓各位から沢山の賞品提供があり、ご協賛いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。最後に全員で校歌を斉唱しゴルフ大会を終えました。

| 松 | |
|-----|--------------|
| 優勝 | 鈴木 秀夫 (50回生) |
| 準優勝 | 平田 哲 (51回生) |
| 3 | 難波 正徳 (53回生) |
| 4 | 空閑 謙二 (50回生) |
| 5 | 草場 健 (52回生) |
| 6 | 田中 昌夫 (52回生) |
| 7 | 小早川 洋 (53回生) |
| 8 | 小西 醇一 (50回生) |
| 9 | 入江 英雄 (51回生) |
| 10 | 池田新太郎 (52回生) |

| 竹 | |
|-----|--------------|
| 優勝 | 松本 忠敬 (56回生) |
| 準優勝 | 高田 利治 (54回生) |
| 3 | 西島 政治 (57回生) |
| 4 | 鳥井 正義 (56回生) |
| 5 | 河村 準二 (54回生) |
| 6 | 吉村 公良 (57回生) |
| 7 | 天野 辰慶 (56回生) |
| 8 | 久保 初雄 (56回生) |
| 9 | 山下 励三 (54回生) |
| 10 | 真鍋 仁輔 (58回生) |

| 梅 | |
|-----|--------------|
| 優勝 | 北野 雅基 (83回生) |
| 準優勝 | 内田 建一 (59回生) |
| 3 | 田中 剛 (62回生) |
| 4 | 木村 登志 (67回生) |
| 5 | 井上 寿一 (83回生) |
| 6 | 丸林 光弘 (59回生) |
| 7 | 小嶋 康弘 (59回生) |
| 8 | 高津 昌誠 (61回生) |
| 9 | 平尾 誠 (61回生) |
| 10 | 入江 淳 (62回生) |

耳よりな話

資格をとって

スキルアップを目指そう!

FPとは、一般にファイナンシャルプランナーの略称として用いられています。このFPは、国家資格としてファイナンシャルプランニング技能士(一〜三級)があり、その資格者が財産に関する総合的なアドバイスをを行っています。財産といっても不動産、動産、預貯金、有価証券、信託受益権、保険、年金、無体財産権、債権などがあ

り、これに関連の税金を含め、それぞれの分野で得意とするFPが、顧客相談やセミナーなどを行って活躍しているわけです。

金融機関で活躍をめざす方は、必須の資格で、ぜひともこのFP資格にチャレンジしてほしいものです。筆者が検定委員として、所属の社団法人金融財政事情研究会(厚生労働大臣指定試験機関)が実施している試験内容をご紹介します。

三級は、FP業務に従事の人または従事予定の一般の人が受験できます。

二級は三級合格者、一級は二級合格者とグレードアップしていきます。詳細はホームページで紹介していきますのでご覧ください。

一級資格を取れば金融機関の職員としては一流と評価されるでしょう。これからは、いかにして顧客満足(CSといえます)を得られるかが大切で、各企業はCS向上に努力しており、FP有資格者も貴重な人材として広く求められています。

簿記を学んでいる人は、日商または全経簿記一級もぜひチャレンジしてほしいです。事務系の最終目標としては、FP一級と簿記一級を取り、実務経験をつめば鬼に金棒です。進学とともに中期計画で準備されることをお勧めします。

筆者は福商卒業後銀行に就職し、勉強を続け前記の資格をとり、70歳を過ぎた今でも銀行ほかで、FPの仕事が続けられ、少なからず貢献しています。資格のおかげです。

後輩のみなさんの限らない好奇心と挑戦を期待しています。

榊田 康義(53回生)
一級:ファイナンシャル
プランニング技能士



同窓生の様々な話題をお伝えするコーナーです

瀧田氏(55回生) おつむよい!山笠! 博多山笠振興会会長に就任



11月24日、博多祇園山笠の総務会が開かれ、瀧田喜代三氏が2008年1月1日付で、次期会長に就任することになりました。瀧田氏は東流に所属し、同流総務や振興会役員、2005年から同副会長を務めていました。

池田氏(59回生)の「福岡如水館」が3連覇

全日本剣道道場大会

9月23日、岡山県倉敷市で「第25回全日本都道府県剣道道場対抗優勝大会」が開かれ、池田健二氏の道場「福岡如水館」が、大会史上初の快挙となる3連覇を達成しました。同大会は道場ごとに、小学生から大人まで年齢順に5人1組でチームをつくり、年齢順に「先鋒」から「大将」までのチームを構成して戦い優勝したものです。

おめでとう!3連覇

福商OB 吹奏楽団、 母校部員と演奏

福岡市民スポーツ大会に参加

10月8日、昨夜から強い雨が降り、平和台陸上競技場で開催される市民の祭典「福岡市民スポーツ大会」も中止と見られました。朝、8時小雨がぱらつくあいにくの空模様です。OB吹奏楽団は、福翔高校に集合しました。平和台陸上競技場へ到着する頃には、雨はぴたりと止んで、日差しが現れ、いよいよ福翔高生と一緒に演奏です。私達福翔と、福岡市消防隊の楽団も例年通りの

福翔バスケットボール部員との激励会開催

平成19年10月20日に天神テールで男女現役部員とOB役員との激励会兼懇親会を開催しました。



11月3日から始まる新人大会(1・2年生)中部ブロック予選

会を前に、福翔バスケットボール部男女40名と山田監督・三宅コーチを招き、本年から福翔バスケットボール部OB会長に就任した湯下会長(60回生)他役員5名と、高野相談役(46回生)、バスケットボール部OBで福商山口理事長を来賓に迎え、盛大に開催しました。

OBの青木(66回生)の司会により会が進められ、現役部員の自己紹介と、本大会に臨む選手全員から力強い決意表明がありました。またOB役員梅田(55回生)・長野(68回生)両氏からも福商時代の練習、試合での苦労話等を披露していただき、爽りある激励会になりました。

終わりに山部さん(94回生)と男女キャプテンをリーダーにして福翔校歌・応援歌を全員で歌い閉会しました。

なお、福翔バスケットボール部のホームページがあり、試合日程・戦績・メンバーの顔写真等が掲載されていますので、ご紹介します。ホームページの検索は

福翔バスケットボール部

福翔バスケットボール部
OB会副会長

柴田 春枝(72回生)

青木 進(66回生)

国産車で5万キロ走破!



40年前に7カ月かけ 南北アメリカ 大陸縦断記 ③

吉積隆二
(50回生)

母校山岳部OB遠征隊メンバー

- | | |
|---------|--------------|
| アドバイザー: | 吉積 隆二 (50回生) |
| 隊長: | 尾石 光治 (54回生) |
| 隊員: | 平野 孝司 (56回生) |
| 隊員: | 江上 守 (56回生) |
| 隊員: | 権藤 康熙 (56回生) |
| 隊員: | 林 洋一郎 (58回生) |

エルパソはメキシコ戦争で二分され、リオグランデ川に架かる橋で、メキシコのシウダーファレスと国境を隔てる。ここからはスペイン語の国である。ここでトラブル。出入国管理局での入国の手続きはスムーズに終わり、税関での荷物検査中の事、何を言



モンテアルバン遺跡

っているのが良くわからない。英語ならどうにか分かるのだが、スペイン語でしか喋らない。スペイン語で「どうしてオレの国に来たのか」と話してららしい。メキシコ人は本当に自尊心が強い。その時の通訳は小学校の先生をしている女の方で、話を聞いてみると、「お前たちの通関には手間を取った。荷物が車3台分、登山道具、薬品、食品等々、それで時間がかかった」若い係りの者が、「ボスがチップを買って来いと言っていい」との事。それで私は「そんな事は出来ない。ボスにはやらないが君にはお土産をプレゼントする」と話して、無事入国した。

オン、サカテカスとメキシコ第二の都市グアダラハラへと進む。2年後のオリンピック開催国の建設を行っている。モレリア経由でメキシコシティーにたどりついた。メキシコシティーでは久留米出身の堤さん宅に、当分の間滞在する事になった。息子さんはメキシコ日産の社員で、また車の整備をしてくれた人も窓に張ってある福岡日産のステッカーを見つければ、「以前福岡日産に勤務していた。懐かしい。自分の家に来い」とのこと。メキシコの酒「テキーラ」で一晩中飲み明かした。

アメリカのアスファルトジャングルから一変して、サボテンと広漠の国メキシコ。車は時速100キロ位で走行。こんな道で良くも飛ばすもんだと驚き、感心した。チワワからデリアス、メキシコ高原を南下し、トレ

メキシコでは酒に強く、喧嘩にも強い事が女性にもてること。自動車の運転ばかりで運動不足。堤さん宅を拠点に、アステカ文明のテオティワカン、太陽の神殿、ソチミルコ、ソチカルコの古代遺跡地帯など、世界遺産を見学しながらトレッキング。少し体力を整え、メキシコシティーの南東80キロに位置するポボカテペトル山(標高5465m)に、メキシコ登山救助隊の会長であるヒゲルモ・フェンデス氏のガイドで登頂した。8月31日の事である。マヤ文明のユカタン半島にも足を延ばしたかったが、日程の関係で出来ず。オアハカとモンテアルバン遺跡を見て、オアハカデファレス→トウストラグティエレス→タバパチュラから9月6日グアダマラに入国する。ここで大失敗。

次号に続く

会費納入者

(平成19年8月1日から平成19年11月30日まで)

長期納入者

33年度まで

56 安武 文明

30年度まで

50 赤井 和子

56 日野山信子

79 山口 和人

29年度まで

43 宮原 守男

50 進藤 京子

28年度まで

39 池見 楓雄

46 白石 圭吾

平野 俊一

51 今泉 麗子

64 合野 政弘

合野 豊子

27年度まで

46 小柳 陽一

51 藤野 敬一

64 三原 一枝

63 広瀬由紀子

66 山下 博司

71 南原 茂

81 北本 浩二

26年度まで

39 真子 雄一

44 真崎 昭治

46 亀岡完一郎

53 園田 尚徳

56 船越 光敏

58 田中 敏

59 仲山 博文

63 森上 博次

25年度まで

33 吉田 豊

39 堀 正人

50 須原 尚寅

52 田中 昌夫

53 難波 正徳

54 山下 励三

55 牛尾 静雄

61 立川 洋蔵

58 藤井 宏一

61 郷原 誠一

62 白石 雅彦

67 稲永 昇

24年度まで

30 石村 善左

42 渡邊健二郎

48 富永七左衛門

49 稲永 篤

51 富永 照久

55 結城 清久

23年度まで

57 梶原智恵子

古川 道子

58 伝 美代子

60 藤井 紘一

63 明石 徳雄

64 吉瀬美恵子

66 森 敏子

68 中嶋 一

73 木庭しげ美

84 山本 恭子

87 山田 裕介

106 今泉 大輝

22年度まで

31 岩城 栄雄

33 篠原康次郎

36 本多 英三

37 中村 良雄

39 大神 芳實

40 森 忠重

41 大竹 弘司

42 落合 二男

48 高村 節子

51 橋爪 一郎

52 平野 勝之

53 森川 孝弘

53 森川 剛

54 築地 輝喜

55 石田 忠義

56 古賀 義孝

21年度まで

57 淵上 徹

石橋 徹也

58 吉田 和男

59 竹内 絹子

60 小手川伊津子

61 伊藤 恭介

62 川添 健二

62 阿部 栄子

63 田中 規子

64 友繁 良春

66 森本 洋子

71 南原紀久子

78 今林 時子

82 堀 勝彦

93 藤田新一郎

104 上野 咲紀

33 川邊 清

33 深川卯三郎

35 木村 茂雄

37 國友 久平

39 白石 敏雄

40 石津 宏之

41 高松 忠

42 田原 榮光

42 中辻 秀三

43 桑野 孝一

43 桑野 實

20年度まで

106 一ノ宮花菜

51 山下 晋一

54 養父 雅行

54 吉村 勝利

55 渡辺 房子

55 馬渡 敏隆

55 大内田静子

55 大木 昭子

59 檀和田正子

59 牟田 時子

60 本村トミ子

61 石井 龍男

61 倉地 英一

62 小谷 武司

62 安永 儀也

62 柴田 照明

62 高原 和美

62 中川 光明

62 山本 宏

62 西村 清二

62 深江 健一

62 真鍋 和夫

62 金澤 恒雄

62 村上 廣清

62 中村 門二

62 津田 達昭

62 蓑原 芳子

62 山口 登

62 王丸 秀男

62 小副川将吉朗

62 岡村美智子

19年度まで

51 道面 新右

52 西川 清春

52 拝形清一郎

52 廣渡 義文

53 森本 繁

53 丸山 弘子

54 岡田 晃治

54 河村 準二

54 齊田 貴典

54 星野 清

54 山本 國夫

54 川口ツキ子

54 田中 博

54 甲斐 秀明

54 河野 弘子

54 藤崎 秋嘉

54 古野三木子

54 田中 和子

54 池田 大海

54 佐田 秀文

54 阿部 武次

54 浜本 政明

54 今林 弘子

54 宗貞 澄枝

54 麻生 孝夫

54 伊藤 國雄

54 羽野金次郎

54 川原 三泰

54 川原のぶ子

54 秀嶋智恵美

54 中村 潤子

18年度まで

54 山下 晋一

54 養父 雅行

54 吉村 勝利

55 渡辺 房子

55 馬渡 敏隆

55 大内田静子

55 大木 昭子

59 檀和田正子

59 牟田 時子

60 本村トミ子

61 石井 龍男

61 倉地 英一

62 小谷 武司

62 安永 儀也

62 柴田 照明

62 高原 和美

62 中川 光明

62 山本 宏

62 西村 清二

62 深江 健一

62 真鍋 和夫

62 金澤 恒雄

62 村上 廣清

62 中村 門二

62 津田 達昭

62 蓑原 芳子

62 山口 登

62 王丸 秀男

62 小副川将吉朗

62 岡村美智子

62 柴戸 昌行

17年度まで

64 坂井由紀子

64 吉村美智子

65 秋本 広幸

65 下川 京子

66 松口十四朗

66 児嶋 和代

66 杉村工三子

67 伊藤みき子

67 小金丸綱代

68 本司 豊作

68 山口 淳子

69 山口 和子

70 角 桂子

70 高木美紀子

77 永野由加里

79 石黒加代子

79 梶嶋 昌美

79 西野 健司

79 山本 恭子

79 小田真由美

93 小泉 幸子

93 坂井 貴浩

94 坂井 貴浩

100 吉田 猛

100 久保 洋二

104 古賀 雅浩

104 南原 麻未

106 森本百合子

106 森本百合子

106 森本百合子

106 森本百合子

平成19年度会費納入者

(平成19年8月1日から平成19年11月30日まで)

- 23 佐々木忠雄
- 32 橋本 満
- 34 山口 鳴海
- 38 久保 喜蔵
- 40 藤野 善平
- 42 長富 幸一
- 43 町田 巽
- 44 石丸 哲雄
- 蔵本 勲親
- 角 勲親
- 中西三右衛門
- 野見山忠蔵
- 藤野 守弘
- 正木 幸生
- 渡邊 節男
- 45 田中 博
- 葉山 昭男
- 松本宗次郎
- 安川 榮一
- 49 阿刀 寛明
- 50 新原 茂美
- 臂 政義
- 古賀 祥三
- 角釋 清美
- 湯浅美智子
- 51 富永 精一
- 中島 正
- 合田 恒子
- 佐藤 暁美
- 57 上野 裕基
- 71 山部 良子
- 江口 稜子
- 橋本 猛雄
- 菊池登喜男
- 松本 良平
- 木村 良憲
- 大谷喜美子
- 坂本 國恵
- 安土 博章
- 南 徹
- 水田 勝敏
- 播磨 浩三
- 肥塚 泰
- 55 大塚 徳男
- 加藤 昭子
- 二宮富美子
- 平田 哲夫
- 永田 義彦
- 大賀 千秋
- 54 安部 吉昭
- 本田 栄一
- 藤 秀和
- 篠崎 博志
- 53 児玉順之助
- 安恒 武士
- 福田 順一
- 柴田 重行
- 大塚 重敏
- 小島 壽園
- 52 古賀 眞信
- 51 松尾 玲子
- 57 三島 文城
- 72 小森 馨
- 朝重 義彦
- 永田 利明
- 山本憲一郎
- 高田千恵子
- 和氣由利代
- 64 青木 綾子
- 大崎 順子
- 羽口眞智子
- 有家 初美
- 因幡 民江
- 山本 達雄
- 65 宿輪 直子
- 藤 志麻子
- 中村三枝子
- 浜地 啓子
- 66 阿部るり子
- 堀屋志津子
- 坪井喜代美
- 67 高田 穂積
- 竹内 光行
- 伊藤 綾子
- 上野 満里
- 渡邊 照子
- 田中 洋子
- 木下言代子
- 中嶋 宏美
- 高橋 和子
- 藤本 住江
- 馬場眞紀子
- 米村小夜子
- 73 川上 博
- 70 八坂 洋一
- 眞鍋 勝恵
- 堀江 治末
- 71 田畑 友成
- 72 奥原 博子
- 加納 厚子
- 63 秋吉 一夫
- 増井 淳子
- 坂梨香津美
- 小田部克子
- 下川 哲明
- 小田部茂俊
- 阿部 利美
- 金城日出子
- 峯元 勝俊
- 松原 徹
- 長野 稔
- 61 木曾 輝實
- 吉永マサ子
- 吉永 祥一
- 60 松尾 忠昭
- 南 美智子
- 藤田 昭子
- 羽瀬工三子
- 大庭 瑞子
- 吉川 陽一
- 田代登志夫
- 曾木 東城
- 59 明石 輝男
- 58 水摩 晃一
- 58 山本 裕子
- 62 知念 典枝
- 中嶋 和子
- 梅本 昭子
- 小川 澄人
- 58 松尾 泰宏
- 62 宮本 信行
- 郷原 節子
- 光安 芳江
- 67 三島 文城
- 79 野口富美子
- 73 野口 嘉孝
- 川上 広志
- 田中 玲子
- 77 星子須美江
- 片岡 陽子
- 黒岩 昭子
- 78 佐野木洋子
- 79 市村さつき
- 81 石橋 直利
- 藤野 晴大
- 82 谷口 正弘
- 田中 佳世
- 83 笠 敬次朗
- 三苫 宏美
- 84 籠 和子
- 西山 知子
- 85 末廣 律代
- 増山 恵子
- 94 小田島亮子
- 98 林 希
- 100 鈴木 雄一
- 99 西田明日香
- 46 高城 次男
- 91 草場 和子(山口)
- 50 眞島栄次郎
- 55 白垣 一成
- 63 水摩 晃一
- 60 堀江 洋
- 65 村下 清久
- 68 浅田 雅子
- 飯田 純子(小田)
- 岩永 康幸
- 梅林 玲子(吉村)
- 柴田 龍一
- 田中 栄子(只松)
- 谷口須美子(新貝)
- 宮原工三子(未安)
- 山本 福美
- 88 浅田 雅子
- 65 村下 清久
- 60 堀江 洋
- 55 白垣 一成
- 50 眞島栄次郎
- 46 高城 次男
- 91 草場 和子(山口)
- 98 林 希
- 100 鈴木 雄一

卒業回生別会費納入者数一覧表

| 卒業回生 | 19年度 | 前年度 | 卒業回生 | 19年度 | 前年度 |
|-------|------|-----|--------|-------|-------|
| 21~30 | 18 | 26 | 70 | 39 | 89 |
| 31 | 12 | 17 | 71 | 13 | 17 |
| 32 | 14 | 15 | 72 | 26 | 24 |
| 33 | 12 | 16 | 73 | 9 | 16 |
| 34 | 10 | 9 | 74 | 11 | 12 |
| 35 | 25 | 35 | 75 | 24 | 28 |
| 36 | 11 | 17 | 76 | 7 | 12 |
| 37 | 22 | 25 | 77 | 12 | 10 |
| 38 | 27 | 30 | 78 | 10 | 11 |
| 39 | 43 | 45 | 79 | 24 | 27 |
| 40 | 44 | 45 | 80 | 11 | 20 |
| 41 | 39 | 44 | 81 | 14 | 20 |
| 42 | 46 | 45 | 82 | 21 | 25 |
| 43 | 38 | 44 | 83 | 9 | 7 |
| 44~45 | 70 | 74 | 84 | 6 | 6 |
| 46~47 | 65 | 64 | 85 | 7 | 9 |
| 48 | 32 | 33 | 86 | 7 | 8 |
| 49 | 23 | 21 | 87 | 7 | 9 |
| 50 | 64 | 65 | 88 | 3 | 5 |
| 51 | 92 | 92 | 89 | 4 | 5 |
| 52 | 86 | 96 | 90 | 4 | 4 |
| 53 | 61 | 64 | 91 | 3 | 2 |
| 54 | 92 | 96 | 92 | 1 | 2 |
| 55 | 102 | 105 | 93 | 1 | 2 |
| 56 | 95 | 92 | 94 | 3 | 3 |
| 57 | 92 | 87 | 95 | 4 | 5 |
| 58 | 89 | 84 | 96 | 2 | 1 |
| 59 | 91 | 91 | 97 | 2 | 3 |
| 60 | 67 | 67 | 98 | 3 | 2 |
| 61 | 64 | 68 | 99 | 1 | 3 |
| 62 | 65 | 60 | 100 | 6 | 4 |
| 63 | 93 | 110 | 101 | 4 | 3 |
| 64 | 60 | 55 | 102 | 6 | 9 |
| 65 | 30 | 35 | 103 | 6 | 3 |
| 66 | 36 | 34 | 104 | 20 | 312 |
| 67 | 36 | 42 | 105 | 315 | 0 |
| 68 | 40 | 27 | 別1~別15 | 17 | 16 |
| 69 | 27 | 36 | 定1~定43 | 25 | 17 |
| | | | 合計 | 2,620 | 2,762 |

(平成19年11月30日現在)

会費は母校の協力に対し深く感謝し厚くお礼申し上げます。
 会費は母校の奨学金給付、体育部奨励金の寄付等に運用させていただきます。
 これからも年々会費の納入に「ついで」協力賜りますようお願い申し上げます。
 なお会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが既に納入済みの方は
 ご容赦下さい。

- 98 林 希 (H 19・7・13)
- 100 鈴木 雄一
- 99 西田明日香
- 46 高城 次男 (H 19・8・15)
- 91 草場 和子(山口) (H 19・11・6)
- 50 眞島栄次郎
- 55 白垣 一成 (H 19・9・9)
- 63 水摩 晃一 (H 19・5・27)
- 60 堀江 洋
- 65 村下 清久
- 68 浅田 雅子
- 飯田 純子(小田) (H 17・10・30)
- 岩永 康幸
- 梅林 玲子(吉村)
- 柴田 龍一
- 田中 栄子(只松)
- 谷口須美子(新貝)
- 宮原工三子(未安)
- 山本 福美
- 88 浅田 雅子 (H 19・9・9)
- 65 村下 清久 (H 19・5・27)
- 60 堀江 洋
- 55 白垣 一成 (H 19・9・9)
- 50 眞島栄次郎
- 46 高城 次男 (H 19・8・15)
- 91 草場 和子(山口) (H 19・11・6)
- 98 林 希 (H 19・7・13)
- 100 鈴木 雄一
- 99 西田明日香
- 46 高城 次男 (H 19・8・15)
- 91 草場 和子(山口) (H 19・11・6)
- 50 眞島栄次郎
- 55 白垣 一成 (H 19・9・9)
- 63 水摩 晃一 (H 19・5・27)
- 60 堀江 洋
- 65 村下 清久
- 68 浅田 雅子
- 飯田 純子(小田) (H 17・10・30)
- 岩永 康幸
- 梅林 玲子(吉村)
- 柴田 龍一
- 田中 栄子(只松)
- 谷口須美子(新貝)
- 宮原工三子(未安)
- 山本 福美

●元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.10●



郷土に名をとどむ経営者



粕屋殖産株式会社

代表取締役会長 篠原 隆義さん(54回生)

父祖の志を継承

篠原隆義氏に久しぶりに会った。彼は母校柔道部OB会の会長でもあるが、昨年8月に郷土の「日守（ひまもり）神社」に、石の鳥居を寄進した新聞記事を見た話を話したところ、「二〇二〇しながら「会社創業40周年記念ですたい」と……。

地元根付いた事業を理想に、建設・土木・宅建・木材業を興し、町会議員のかたわら、一級建築士をはじめ優れた人材を集め、宮々と努力して、今では地元でも屈指の信用ある建設土木会社として営業している。

現在は議長まで勤めた公職をすべて引退し、会長職にあるが、日守神社の氏子でもある。子供の頃よりわが庭のようにして遊んだお宮の老朽化を残念に思い、会社創業40年を期して一念発起したと言っ。

故郷に誇る万葉歌碑

篠原氏の祖先も、代々鎮守の森を大切にし、お宮の行事に参画協賛してこられた事がお宮の碑に、祖父や父の名が刻まれている事でも分かる。このお宮は神功皇后が休憩され、太陽を拝まれた所という伝承があり、腰掛の岩と言われる石が二つある。当地が奈良時代までは、博多湾の入り江になっており、交通の要衝として栄えていた。その言い伝えを胸に暖め、彼は自ら万葉集をひもとき、遂に当地を詠んだ歌一首を見いだした。

草枕旅行く君を愛しみ
副ひてそ来し志可の濱邊を

昭和57年万葉歌碑の建設を志し、広く有志に浄財を呼びかけ、時の県知事・亀井光氏に揮毫を依頼。翌年3月、千



古に残る堂々たる御影石の碑は完成し、万葉の心を今に伝えている。

企業の浮沈の激しい昨今、経営だけでも大変な時代であるのに、生まれ故郷にしっかりと地歩を築き、事業と共に、故郷の鎮守の森の石碑にも、自らの足跡をとどめ、多くを語らない。黙々と事業に励む経営者であり、まさに一隅を照らす同窓生と言えよう。

山地 政美(50回生)

私の信条

「天の蔵に徳を積む」
人と人との絆を大切に！

粕屋殖産株式会社

建設業／不動産業／その他
設計／不動産・住宅／建設・リフォーム
メンテナンス・防犯

【事業内容】

1. ビル建築設計施工・不動産売買仲介・一般住宅
2. 空室状況

【住所】

〒811-2304

糟屋郡粕屋町大字仲原2525

TEL:092-621-1331

FAX:092-621-7802

URL: <http://shokokai.net/evokusan/>

e-mail: suyas@mocha.ocn.ne.jp

地域社会に
貢献する
粕屋殖産

NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータネットワークシステム開発販売 代表取締役 跡部 宗教 (79回生)
ホームページ制作 制作 コンサルティング ATOBE MUNENORI
ホスティングサービス レンダリング サービス
インターネット・WEBカメラ
福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071
Total Support Of Computing

DALIA
INCORPORATED

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
Fujio Takaki

株式会社 ダリア
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail/f-takaki@dalia.co.jp
http://www.dalia.co.jp

**不動産の仲介
(有)ヨシイホーム**

代表取締役 **吉井 薫** (64回生)

福岡県知事免許(4)第12151号(社)福岡県宅地建物取引業協会会員
〒812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目41番9号
TEL 092-621-2840 FAX 092-612-2040

「うまい!」うれしいお礼のことは
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役社長 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

傑作まんじゅう **博多通りもん**

株式会社 **明月堂**

秋丸 武士 (58回生)

〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-11-23
TEL(092)411-7777 FAX(092)411-7878

総合建設業一級建築士事務所

株式会社 五成建業

取締役会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

相談役 **堀江 武** (52回生)
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告代理店

株式会社 **春潮社**

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 **中島晴薫堂**

代表取締役会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044 福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055 長崎営業所 諫早市葉面町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

〒7-7にもいろいろ
あります…

福岡テープ株式会社

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)

福岡市博多区那珂3丁目2-4
TEL 092-411-3929(代)

創業119周年 **imai**
PRINTING

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番20号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する 総建設業・木材業
柏屋グループ 不動産業・アバマン柏屋店

一級建築士事務所

柏屋殖産株式会社

代表取締役会長 **篠原 隆義** (54回生)

本社 粕屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

有限会社 **エステート平野**

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号
TEL(092)431-5616

**紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社**

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

お見積もりをさせていただきます
同窓生特別割引を致します

早く・安く・丁寧にをモットーにしております。

代表取締役 **永島 光雄** (55回卒)
笠木 雄二 (65回卒)
本村 智彦 (82回卒)

印刷の **nip 株式会社 ナガシマ**

福岡市博多区豊1丁目9-18 TEL482-7751(代) FAX482-7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

藤村 みつ (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

倶楽部 **萌**
since 1999

長谷 州身子 (81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F
TEL092(262)5577

PROFESSIONAL by **Uratsuka PRO.**
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社:〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079
e-mail/info@urapro.jp
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

記事投稿のお願い

会員皆様からの記事投稿をお願いしております。随想、俳句、写真、趣味や同舟往来の紹介など何でも結構です。ご連絡をお待ちしております。

〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-57
社団法人 福商会

**TEL:092-711-9890
FAX:092-711-9266**

ふく料理専門 **博多ぼて**

嶋田 末江 (61回生)

福岡市中央区西中洲1-5
TEL092(713)0225

玄海の磯の香りをそのまま直送

生け簀 魚村
香司 齋室

福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎(092)781-7388
代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

会館だより

寺崎さん(60回生)絵画展開く



二科会会友の寺崎陽子さんの絵画展が11月1日～23日、福岡市中央区西日本新聞会館の福岡国際ホールロビーで開かれました。定期的に個展を開催されており、今年のテーマは「春のリエゾン」とのことです。リエゾンとはフランス語で合体を意味し、「人との結びつきや企業と企業がつきつき、明るく希望もてる社会になってほしい。そういう想いでこれからも制作を続けていきます」と語っていました。

水泳部生徒たちが来館



谷口さん、岩岡さん国体出場おめでとう

9月25日、母校水泳部の谷口実雅子さん(3年=写真右)と岩岡里衣さん(1年=写真中央)が特活指導部長の西島先生らと来館しました。二人は9月29日から開かれる「秋田わか杉国体」の水泳競技(リレー)に福岡県代表として選ばれ、出場報告のため訪問したものです。生徒たちは「自己ベストを更新できるよう頑張ります」と力強く抱負を語っていました。



福商会会員の皆様へご注意願います

「人事新報社」なる会社から「福翔高等学校名鑑」を発刊(平成20年4月)するので、調査カードに掲載内容を記入して欲しい旨の、申込ハガキが同窓生宛に送られています。

この会社は福翔高等学校及び福商会とは全く関係がない会社であり、調査の委託なども一切行っていません。

「人事新報社」へ調査ハガキの返信、申込は不要ですのでご注意ください。すでに多くの高等学校、大学の同窓会に同様のハガキが送られており、注意を呼びかけています。

福商会事務局

ご注意

編集後記

謹んで新春のおよこびを申し上げます。同窓の皆様、良いお年をお迎えのことと思います。

私は福商会報146号から広報委員として編集に携わっております。広報委員になったきっかけは、卒業50年記念誌「がめ煮の青春」を、獅々児(ししご)会が平成10年に発刊する折、執筆依頼や原稿の収集、編集作業に奔走した経緯があり、勧誘されたと思います。

もともと編集の経験はなく、主に校正・校閲をしています。手書きの原稿が活字になると、つい読み過ごして送り仮名などの誤りが見つけにくく、見落とすこともあります。怖いのが誤変換による「同音異義語」です。国語審議会が決めた常用漢字表と現代仮名遣いを基に、漢字と平仮名のバランスを考慮し、文章は

なるべく15行以内で改行して、読みやすいように工夫しています。固有名詞や特別な用語を除き、読みにくい古語や昔つかわれていた語句には、平仮名で読みをいれるか別の言葉に言い換え、書き換えることによりニュアンスが変わったり、書き換えが難しい場合は、やむを得ず原文のままとすることもあります。

会報で同窓会と懐かしい母校の現状を知ることができると思います。慣れない編集作業ですが、より良い会報づくりに励む所存です。会報についてのご意見やご投稿をお待ちしております。

都地 義彰(44回生)

この会報を通して、共に過ごした福商時代のことを思い出し、また卒業生のその後の活躍の姿を伝えて、母校への誇りを共有できればと願っています。

安河内 眞彦(52回生)

記事に関するお問い合わせは、福商会事務局へ

TEL:092-711-9890 FAX:092-711-9266